



## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年8月2日

上場取引所 大

上場会社名 攝津製油株式会社

コード番号 2611 URL <http://www.settsu-seiyu.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 二ノ宮 義治

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 山本 信秀

TEL 072-280-2650

四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	2,512	10.4	105	△1.3	110	1.2	68	10.6
23年3月期第1四半期	2,275	1.1	106	△2.4	109	△1.7	61	△14.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	5.59	—
23年3月期第1四半期	5.06	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
24年3月期第1四半期	5,916	—	3,348	—	56.6	274.36	—	
23年3月期	5,998	—	3,322	—	55.4	272.21	—	

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 3,348百万円 23年3月期 3,322百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	4.00	4.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,100	9.1	210	10.9	210	8.2	120	44.0	9.83
通期	10,300	6.1	420	14.8	420	12.2	230	31.1	18.84

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	12,222,080 株	23年3月期	12,222,080 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	16,556 株	23年3月期	16,181 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	12,205,886 株	23年3月期1Q	12,206,920 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P.3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 追加情報	8

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災及び福島原発事故の影響により、経済活動全体に計り知れない打撃をおよぼし、特に、その後の東日本での計画停電や節電策は、大幅な経済活動の停滞を引き起こしたばかりでなく、復興需要や個人消費にも影響をあたえており、景気は依然として不透明な状況で推移しております。

こうした経済環境のなかで当社は、化成品事業における安定的な事業収益を生み出す事業構造変革への取組み、拠点統合を行った本社・化成品工場のさらなる効率化の取組み、また、工場におけるコスト競争力・購買力・生産技術力及び品質保証体制の強化などの経営基盤の安定・強化に取り組んでまいりました。

当第1四半期累計期間における業績は、売上高は、化成品事業は減少したものの、油脂事業は増加し、25億12百万円（前年同期比10.4%増）となりました。

しかし、利益面では、油脂事業における売上高が増加したものの、東日本大震災をうけた化成品事業の売上高の減少等が影響し、営業利益は1億5百万円（前年同期比1.3%減）となり、営業外収支の改善もあり、経常利益は1億10百万円（前年同期比1.2%増）、四半期純利益は68百万円（前年同期比10.6%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

## (油脂事業)

当社の油脂事業は、精製受託、業務用斗缶販売、小瓶充填・小ロット精製から構成されています。

精製受託は、前年同期と比べ菜種油とコーン油の受託量が共に増加したことから、売上高は前年同期を大きく上回りました。

業務用斗缶は、原料価格が高水準で推移するなか、引き続き、価格是正優先の販売に徹したことから、売上高は前年同期を上回りました。

小瓶充填・小ロット精製は、有機油やぶどう油などの自社プレミアムオイルの販売量とギフト関連の充填受託数量が共に減少し、前年同期を下回りました。

以上の結果、油脂事業の売上高は13億81百万円で前年同期比29.7%増となりました。セグメント利益は、76百万円で、前年同期比59.5%増となりました。

## (化成品事業)

当社の化成品事業は、自社業務品、OEM及び業務提携先OEMから構成されています。

自社業務品は、外食店や食品加工工場への拡販に努めた結果、東日本大震災をうけた一時的な需要の増加はあるものの、中性洗剤や殺菌洗浄剤では順調に売上を伸ばすことができました。

OEMは、スキンケア商品の受託が大幅増となりましたが、ランドリー関連の新商品の上市時期が翌四半期に変更になったことから、ハウスホールド商品の受託量が激減し、苦戦を強いられました。

業務提携先OEMは、東日本大震災の影響をうけて、当初原材料の入荷が不安定になったため、濃縮洗剤、殺菌洗浄剤、医薬部外品及びケミカル関連商品の生産を減少せざるを得ず、期中で増産を図ったものの、売上高は前年を下回る結果となり厳しいスタートとなりました。

以上の結果、化成品事業の売上高は、10億1百万円で、前年同期比7.4%減となりました。セグメント利益は、1億46百万円で、前年同期比10.5%減となりました。

## (その他)

その他については、物流業務における流通加工業務が増加し、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、その他の売上高は1億29百万円で前年同期比0.8%増となりました。セグメント利益は、61百万円で、前年同期比12.9%増となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末の総資産合計は、59億16百万円となり、前事業年度末に比べ81百万円減少しました。

主な内容は、流動資産につきましては、売掛金が減少したことなどにより28百万円減少し、固定資産につきましては、減価償却が進んだことなどにより53百万円減少したことによるものであります。

負債合計につきましては、25億67百万円となり、前事業年度末に比べ買掛金及び未払法人税などが減少し1億8百万円の減少となりました。

純資産合計につきましては、33億48百万円となり、前事業年度末に比べ利益剰余金及びその他有価証券評価差額金が増加し、26百万円の増加となりました。

以上の結果、自己資本比率は、56.6%となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、「平成23年3月期 決算短信(非連結)」(平成23年5月9日発表)において公表いたしました当初の計画を変更しておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	33	34
受取手形及び売掛金	2,068	1,922
有価証券	0	0
商品及び製品	194	299
原材料及び貯蔵品	130	140
その他	82	83
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	2,510	2,481
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	860	854
機械及び装置(純額)	221	208
土地	1,919	1,919
その他(純額)	171	163
有形固定資産合計	3,172	3,145
無形固定資産	73	68
投資その他の資産	242	220
固定資産合計	3,487	3,434
資産合計	5,998	5,916
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,287	1,186
短期借入金	134	209
未払金	584	696
未払法人税等	96	16
未払消費税等	20	20
引当金	60	27
その他	47	39
流動負債合計	2,230	2,196
固定負債		
退職給付引当金	329	285
役員退職慰労引当金	57	30
その他	57	54
固定負債合計	444	370
負債合計	2,675	2,567

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,299	1,299
資本剰余金	1,165	1,165
利益剰余金	858	877
自己株式	△5	△5
株主資本合計	3,316	3,336
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5	12
評価・換算差額等合計	5	12
純資産合計	3,322	3,348
負債純資産合計	5,998	5,916

(2) 四半期損益計算書  
第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	2,275	2,512
売上原価	1,942	2,157
売上総利益	333	355
販売費及び一般管理費	226	250
営業利益	106	105
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	1	3
仕入割引	0	1
受取地代家賃	0	0
その他	0	0
営業外収益合計	3	5
営業外費用		
支払利息	0	0
売上割引	0	0
その他	0	0
営業外費用合計	0	0
経常利益	109	110
特別損失		
固定資産除却損	0	—
投資有価証券評価損	—	10
特別損失合計	0	10
税引前四半期純利益	109	99
法人税、住民税及び事業税	57	14
法人税等調整額	△10	17
法人税等合計	47	31
四半期純利益	61	68

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) セグメント情報

I 前第1四半期累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	油脂事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,065	1,082	2,147	128	2,275
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,065	1,082	2,147	128	2,275
セグメント利益	48	163	211	54	265

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれないセグメントであり、物流業務を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	211
「その他」の区分の利益	54
全社費用	△159
四半期損益計算書の営業利益	106

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	油脂事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,381	1,001	2,383	129	2,512
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,381	1,001	2,383	129	2,512
セグメント利益	76	146	222	61	284

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれないセグメントであり、物流業務を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	222
「その他」の区分の利益	61
全社費用	△179
四半期損益計算書の営業利益	105

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

- (6) 追加情報

当第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。